

木の家づくりを通じて暮らしを提案する

KoKoLab.

隔月刊ココラボ通信

NO. 64

2016 December

完成現場報告 島田市／『泉の家』

木と樹に包まれた暮らし



2P) 『泉の家』の中心となる中庭。コの字型の建物に囲まれた中庭は家族だけの特別な空間。採光や通風を生み出し、大好きな植栽を楽しむ場となっている。シンボルツリーにはコハウチワカエデを植え、グランドカバーにタマリユウマツを敷き詰めた。

3P右上) 中庭を広間から眺める。窓の高さに合わせた軒がコの字型に回り、落ち着いた雰囲気を感じさせてくれる。一本立ちのコハウチワカエデは樹形がお気に入り。夏は毎日水やりを欠かさず大切に育てている。

3P左) キッチンが続きとなった広間空間。大きな開口部には木漏れ日が差し込み、南と西にハイサイド窓を設けた。時間と共に差し込む光が変化し、1日を通して明るく暖かな広間となった。

明るく暖かなNさんのお宅ですが、決して敷地条件に恵まれているわけではありません。私が初めてNさんとお会いした頃は自分たちの希望に合う土地を探されていて、通勤やご両親の家との関係、日当たりや子育て環境など、様々な条件を照らし合わせて検討されていました。環境や日当たりの良い土地は駅から遠く電車を利用するNさんにとっては少し不安があり、通勤に便利な土地は広さや日当たりが心配に。そんな時、静岡市で建築した『AGRIの家』をご覧いただき、土地の形や周辺環境だけでなく、いろいろな手法を取り入れていけば明るく快適な住まいが出来るのではと考えたと伺いました。最終的にNさんの選んだ土地は南北に少し細長い北道路の敷地で、東と南にはすでに住宅が建ち、西側の空き地も近い将来家が建つと思われる敷地でした。道路以外の3方が建物で囲まれ、敷地だけを見ると日当たりやプライバシーは大丈夫かな？と思わせる土地でしたが、土地購入の前にプランを作成しながらイメージを膨らませ、安心して計画を進めていただくことができました。

通常住まいのプランを考えていく際、道路側に駐車スペースを設け、なるべく南側を空けて考えていきますが、今回のケースは発想を変えて建物を南側に寄せたプラン

コの字型中庭プラン

季節の移ろいは早いもので、特に秋は足早に過ぎていくように感じます。まだまだ日中は暑いと薄着で外出すると、日暮れ頃には肌寒く感じ、上着を一枚持って来れば良かったな...と感じる日もしばしば。心地よいと感じさせてくれる期間は短く、11月に入ると草木の色付きや富士山の雪化粧などでも冬の訪れを感じます。日に日に朝晩の気温が下がり慌てて薪ストーブのメンテナンスをしたり薪の準備をしたりと冬支度を行うものの、木の家は保温力があり日中暖かな日は夜になっても室内が冷めず、外の温度変化を感じさせないくらい快適です。先日撮影に伺った『泉の家』のNさんのお宅も、午前中は中庭から燦々と日差しが差し込み、明るく暖かな室内でも快適でした。Nさんに伺うと、まだ夜でも家の中は寒くないですよ。快適です。と話してくれ、木の家の暖かさをとても気に入ってくれているようでした。

完成現場報告
島田市／『泉の家』
文・写真／コロコロ 山崎健治

木と樹に包まれた暮らし





和室格子戸：和室の窓に取り付けた格子戸。寝室として利用している部屋のため、広間や廊下からの視線隠しの目的で採用したが、格子戸がある事で雰囲気のある中庭となった。



浴室：浴室はガラス戸で区切られている。引戸を開けると家事をしながらも子供の様子を見る事が出来る。



脱衣室：洗面室と廊下側の2方向から出入りが可能。廊下側を開けると緑が清々しい中庭を望む事が出来る。

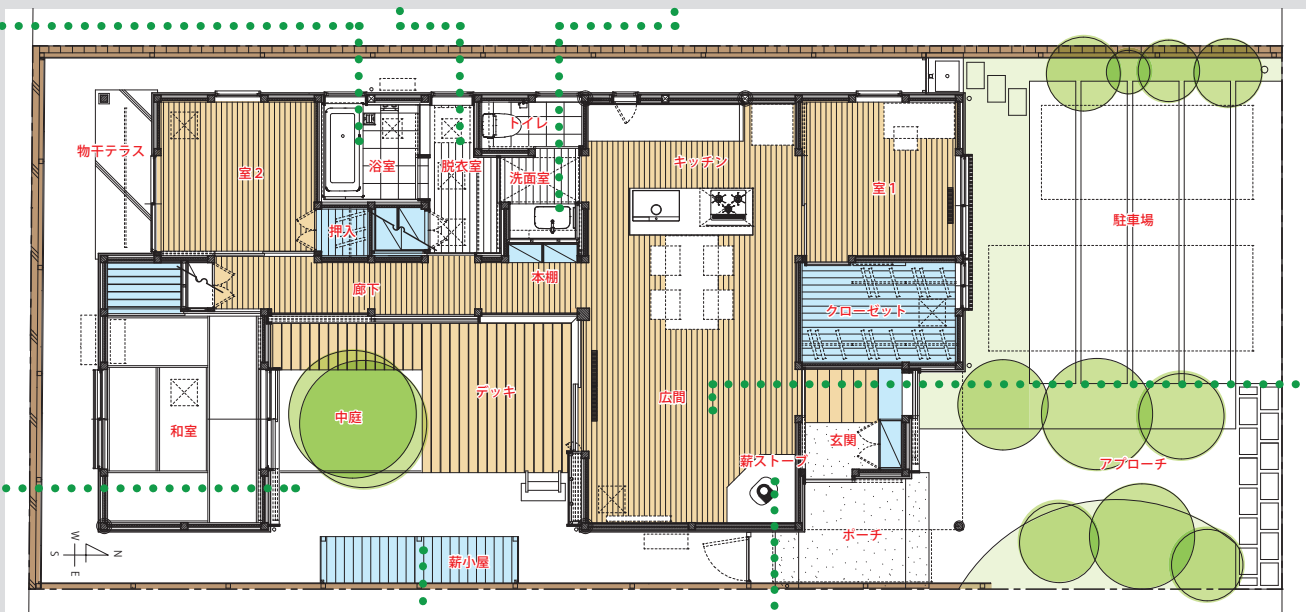


洗面化粧台：天板と水栓にこだわったオリジナルの洗面化粧台。天井にはトップライトを設け、その下に格子障子を取り付けた。障子越しの光は柔らかく、程よい明るさのある洗面室になった。

『泉の家』の間取りと内部空間をご紹介します

今回の計画は敷地を余すことなく利用し、中庭を囲むコの字型プランとなりました。ほとんどの部屋から中庭を見ることが出来、採光や通風などの機能面だけでなく、緑を楽しむ家族みんなの癒しの空間となっています。Nさんのこだわりの細部と共に、木と樹に包まれた優しさの感じられる空間をご紹介します。

仕様内容	
家族構成	家族4人
敷地面積	197.10㎡
建築面積	90.04㎡
延べ床面積	79.48㎡
構法	落とし込み板壁工法
屋根	ガルバリウム鋼板 タテハゼ葺き
外壁	ガルバリウム鋼板 角波縦貼り マサ土掻き落し仕上
外部建具	木製オリジナル建具 ナラ、ヒバ ペアガラス、アルミサッシ(ペアガラス)
天井仕上	杉板本実張り 厚30mm 青森ヒバFJ本実板張り 厚15mm
壁	杉落とし込み板現し、漆喰塗り 青森ヒバFJ本実板張り
床	栗本実乱張 厚15mm
内部建具	オリジナル木製建具 葛布ガラス入框戸
キッチン	ステンレスヘアライン/天板オリジナルキッチン
洗面化粧台	アイカ 人工大理石天板オリジナル洗面化粧台
浴室	オリジナル浴室 300角サーモタイル貼 青森ヒバ貼
設計者	山崎健治
施工	有限会社こころ木造建築研究所
竣工	平成27年8月



1F平面図



広間の一角に設置した薪ストーブは壁や天井などの木材を暖め、次第に部屋全体の温度を上げてくれる。壁や天井からの放射熱はとても心地よく、部屋の何処にいてもポカポカと体の芯まで暖めてくれる。



薪小屋：柱と柵で区切られた一区画で約一ヶ月分の量になる。毎日使うと、これだけあってもワンシーズン分しかない。



薪ストーブ：コンツラ C850。スタイリッシュな縦型で3面ガラスが特徴。広い範囲から炎を見る事が出来るストーブ。

を考えました。単に南側に寄せたプランでは採光が取れないので建物をコの字型とし、家の中心に中庭を設けたプランとしました。写真でもわかるように、広間には十分な採光を得ることが出来、建物で中庭を囲んでいることからプライバシーの高い安心した外部空間をつくる事が出来ました。この中庭スペースですが、東向きとするか西向きとするか？ プラン作成当初少し悩みました。南側のお宅の窓配置を考えると中庭を西向きとする案が良いのですが、西側にどんな家が建つのかわからない状況だったため不安もありました。最終的には不安を少しでも無くすために現在の東側のお宅の状況を考慮して東側向きとすることにし、中庭に大きな木を植えて視線を遮り、東側に新棚を設けて隣のお宅を感じさせない空間をつくりました。また、中庭を東向きとした事で広間のハイサイド窓から朝日を取り込む事が出来、冬の季節もとても明るく暖かな室内をつくる事が出来ました。約6坪程の中庭は家のほとんどの部屋から見ることが出来、明るさや暖かさと共に、草木の変化で季節の移ろいを感じる空間です。また、約半分の面積に設けたデッキで過ごす時間も特別なひと時で、この場所にいると計画当初心配した敷地形状や隣家などの周辺環境を想像させる事もなく、心の落ち着く豊かな空間をつくる事が出来たととても嬉しく思います。



寝室として利用している6帖の和室。壁と天井は杉板と漆喰の仕上げだが、雪見障子やカシュー塗りの襖が和の雰囲気を出している。Nさんこだわりの襖紙は、子供たちの健やかな成長を願った柄になっている。



ダイニングからキッチンを見る。キッチンの上部には障子を嵌め込んだハイサイド窓を設置した。隣の敷地には家が建っているが、白い外壁に光が反射し、キッチンに程よい明るさを与えている。



オリジナル製作したアイランドキッチンとカウンター収納。カウンターやシンク形状をはじめ、ガスコンロや換気扇などの機種選びもこだわりを持ってNさんが選んだ一品。



廊下の一部に設けた本棚。下部の格子扉の中にはDVDなどの機器が納められ、壁掛TVと配線が繋がっている。テレビ周りをスッキリとさせ、子供のいたずら防止にも役立っている。



ダイニングから中庭を眺める。コンパクトな広間空間だが屋根形状に合わせて天井を高く取り、明るさと開放感のある広間になった。イーゼルチェアやペンダント照明を始め、家の中を飾る小物や花などのすべてがこの家に調和し、暮らしの質を高めている。

コンパクトな空間の中に こだわりの素材とデザイン

Nさんのお宅は中庭を中心とした広々とした印象のお宅ですが、敷地を最大限に利用し、60坪の敷地に24坪の平屋を計画しました。24坪と聞くとコンパクトなお宅を想像すると思いますが、ダイニングとキッチンをワンルームにまとめた広間空間を中心に、寝室として設けた6畳の和室、将来の子供部屋用に4.5畳の部屋が2つ設けてあります。その他3帖のクローゼット、少しゆとりのある間取りです。初めは不安もあつたけど、住んでみて狭いと感じた事はない。天井も高く各部屋で変化があり、十分な広さだと話してくれました。

間取りや建物形状に特徴のあるNさんのお宅ですが、素材や設備、造り付けの家具などにもこだわりがたっぷりです。家の構造体を板倉構法で造り、内部の壁は杉板の現し部分と漆喰塗りの壁の2種類で仕上げられています。板倉構法は壁の構造体である落とし込み板を最大限に利用し、構造体であると同時に防火、断熱、仕上げ材として利用する事が出来ます。木に包まれた空間は閉鎖的な雰囲気が出る事がありますが、木の色や節の有無をコントロールし、また外部に面した開口部を大きくする事で閉鎖感のないスッキリとした空間をつくる事も出来ました。Nさんのお宅では、広間の梁下

部分を漆喰塗りとし、梁上に杉板を現す仕上げとしています。木の存在感を感じつつ漆喰の明るい雰囲気も感じられる仕上がりになりました。コロボではほとんどのお宅で製作させていただいているキッチンや洗面化粧台ですが、今回はNさんのこだわりで少し変わった家具が出来上がりました。キッチンでは天板やシンク形状にこだわり、特注での製作になりました。写真では分かりにくいですが、ステンレス天板の厚みを2cmと薄く仕上げ、スクエア型のシンクには使いやすさを考慮して洗剤置場をつくりました。また、通常ガスコンロは外壁側に配置する事が多いのですが、今回は奥さんの希望でシンクと同じ広間向きとなりました。アイランド型のキッチンでコンロがこの位置となると排気をどうしようかと悩みます。打ち合せを重ね、思い切った屋根部分に採光と排気の機能をあわせ持つ塔屋をつくりました。煙突と合わせて外観からのワンポイントにもなり、室内の換気扇も無理なく納める事ができました。洗面化粧台にもNさんのこだわりが表れ、お気に入りの水栓を取り付けるためにスマートな縁形状のカウンターをあわせました。また浴槽にはホーローを、照明器具、薪ストーブもひとつひとつ吟味して選んでいきました。



玄関前を彩る植栽は、時間をかけてNさんがコツコツと製作している。雑木の他にも苔や石などを上手に使い、趣のある前庭が出来てきた。



アプローチから玄関を眺める。深い軒に守られた玄関は夕暮れ時に窓から漏れた暖かな灯りで迎えてくれる。



中庭につくった小さな庭のタマリユは、Nさんと私の二人で敷き詰めた。光の届きにくい場所だが一年経った今でもタマリユはとても元気で青々としている。



玄関アプローチに沿って数本の雑木で小さな前庭をつくった。色々な木々は季節毎に雰囲気が変わり、家族だけでなく来客も楽しませてくれている。



北道路からの外観。窓の縦格子と、屋根に突き出した煙突と塔屋がアクセントになった。煙突は通常の断熱煙突を壁で囲み、オリジナルで製作した角トップを設置した。シンプルだが個性的な外観となり、機能とデザインが重なったファサードとなった。

木の家暮らしをさらに楽しく

Nさんは家の完成にあわせてもうひとつ大きな楽しみがありました。それは外構と植栽計画。特に中庭に植える植栽は工事のタイミングがあり建築途中に植えたいので早めに植木屋さんに見にきました。色々見ながら植木屋さんはコハウチワカエデに決定。正面を決めたり少し傾けたり。私もわがままを言わせてもらいとても満足のいく配置が出来ました。家の完成後には玄関前にも植栽を行い、山取りの雑木を中心とした趣のある植栽が出来上がりました。中庭は室内から、玄関前庭は来客や通りかかると豊かを楽しませてくれ、木の家とあわせて豊かな気持ちにさせてくれる風景が出来たと思います。

今回Nさんの家づくりに携わる事が出来て、家づくりの楽しさを改めて感じさせていただく事が出来ました。土地の特徴や周辺環境からプランを提案させていただき、悩みながらもみんなでプランを育てるように新しい発見や課題を見つけ、毎回新鮮な気持ちで打合せを重ねていったように思います。採光や通風を始め家事動線や収納計画を考え、現実的な使い勝手を検討する中でもプロポーシヨンや素材を吟味。Nさんご夫婦は単に性能や機能を重視した考えだけでなく、モノの綺麗さや本当の意味での心地良さを考えた上での選択が多く、私達建築屋の理想やこだわりにも様々な場面で応えてくれました。家が完成し何度か伺いさせていただけますが、行く度にこの家の気持ち良さを感じ、またNさんご家族の愛情も伝わってきます。時間を掛けてじっくりとつくり上げてきた木の家ですが、年月が経つにつれさらに雰囲気が増し、これから益々楽しい暮らしが待っているのだと感じます。まだまだ木の家の暮らしは始まったばかりですが、今後もNさんご家族とこの家の成長を楽しみにしています。



「発酵食のある暮らし」

日本の国産「糀」からできる甘酒・塩麹、お味噌やお醤油・味醂などの発酵調味料には、普段のごはんをもっと美味しく楽しく健康的にしてくれる魅力が、たくさんたくさん詰まっています。発酵食のある暮らし、始めてみませんか？

酒粕レシピ I | 酒粕クリームコロッケ



材料 / 4人分

- たまねぎ...1/2個
- にんにく...ひとかけ
- きのこ2種類...各1パック
- 菜種油...大さじ3
- ゆる酒粕...大さじ2
- 味噌...大さじ1
- 塩こうじ...大さじ2
- 米粉...大さじ3
- 豆乳...200cc

作り方

1. 玉ねぎとにんにくをみじん切りにして菜種油で炒める。
2. しんなりしてきたらみじん切りにしたキノコを入れてさらに炒める。
3. 酒粕、味噌、塩こうじを入れて味付けをする
4. 米粉を入れて練り、豆乳を少しづつ入れてベシメルソースを作る。
5. 冷蔵庫で1時間以上冷やし(固まって成形しやすくなる)丸くしてから、小麦粉→卵→パン粉の順でつけて、からりとするまで揚げる。

酒粕のこと



寒い時期に身体を芯から温めてくれる「酒粕」。美肌などの美容効果はもちろん、がんの予防や肝機能改善など健康効果もたくさんの優れたもの！市販されている板粕やバラ粕をお水と一緒に練った「ゆる酒粕」を作っておくと、いろいろなお料理やお菓子に役立てておすすめです。

「ゆる酒粕」を作ろう！

酒粕100g + 水120cc~150cc

- ① 酒粕と水を混ぜて30分以上置いておく
- ② 酒粕が柔らかくなったらホイッパーなどで混ぜる
- ③ 冷蔵庫保存2週間程度

※酒粕にはアルコールが含まれていますので、気になる方はお鍋で煮てアルコールをとばしてください(焦げやすいので注意)

「コロラボ設置店」より...

こだわりのお店紹介

doma 雑貨店



「良いモノを長く使う ていねいな暮らし」をテーマに職人の手によってつくられる道具類などを取り扱っています。昔ながらの道具は、先人たちの知恵が詰まっているので、使いやすく機能的。その他にも「保存食日和」として、お味噌づくり教室など、保存食にちなんだ催しを開催。「古き良き日本の文化や暮らし方」を後世に伝えていけたら幸いです。お教室や催しはFB「doma雑貨店」or「保存食日和」でご確認ください。

doma 雑貨店

焼津市大村2丁目10-13
 [TEL] 054-620-5081
 [OPEN] 13:00~17:00
 [定休日] 土曜日+臨時休業あり
 [URL] <http://doma-zakka.cocolog-wbs.com/>



doma 雑貨店さんからお知らせ

年末の大掃除に



当店では、江戸幕の老舗「白木屋傳兵衛」の帚やはりみ(紙製のちりとり)なども取り扱っています。帚を1本常備しておけば夜間でも音を気にすることなくお掃除できます。年末の大掃除には、細やかな箇所でもサッと掃ける小帚やハタキなどもオススメです。

NO TARGET



14年目を迎えた静岡市のメンズアパレルセレクトショップ「ノーターゲット」。目まぐるしく変わるアパレル業界の中で、仕入れるモノや対象年齢などの規制を決めず=NO TARGETに、自由な感性でオリジナルの店作りをし、幅広い層の方に支持されているお店。少くせのあるモノ、長く使えるいいモノ、オリジナルでつくっているモノ、何かしらお気に入りが見つかるはず。

NO TARGET (メンズアパレル&雑貨)

静岡市葵区両替町1-5-7
 [TEL] 054-255-9175
 [OPEN] 11:30~20:00
 [定休日] 無休(元旦のみ休み)
 [URL] <http://www.no-target.co.jp>



NO TARGETさんからお知らせ

お取り扱いブランド



お店での取り扱いブランドは、Narifuri・OVER THE STRIPES・JAM HOME MADE・SAYPUNK DRUNKERS・Harlem Blues など。お父さんや彼氏さんへのプレゼントを探しに来てくださる方も多いです。女性の方もお気軽にお立ち寄りください。



「madoi」

発酵食スペシャリスト・調理師

静岡市東鷹匠のアトリエやカフェなどでお料理教室や「発酵ごはんの会」を開催。ケータリング、発酵ごはんのお弁当なども。スケジュールはブログをご覧ください。
 [Blog] <http://www.madoi-biyori.cocolog-nifty.com>
 [instagram] @madoi1011
 [e-mail] tsujimuramadoka@gmail.com



発行人 有限会社ころ木造建築研究所
代表 山崎健治

〒427-0011 静岡県島田市東町1047-2

TEL : 0547-54-4556

FAX : 0547-54-4557

http://www.kokolab.jp

E-mail : office@kokolab.jp

担当

山崎良江(「コラボ通信設置店より…」担当)

編集… Branch 村上幸枝

印刷所… 松本印刷株式会社

※本誌記事の無断転用や
コピーを禁じます。



[購読を希望されます方へ]

当社ホームページのお問合せフォーム又はTEL、FAX、E-mailのいずれかでお申込み下さい。

年間購読料…1,200円 / 一冊定価…200円

(上記料金は発送費として頂いております。)

※当社もしくは通信設置店では、
無料でお配りしております。

会社概要

当社は、地域木材と職人の伝統技術を用いて木の家造りを行っている設計事務所です。隔月発行の『コラボ通信』、また『こころぼスクール』やイベントなどを通し、住宅や暮らしを取り巻く様々な情報を発信しております。

編集後記

11月の中旬に職人と共に社員旅行に行きました。9月に『こころぼの家』で展示を行った舞鶴の真泥(MUDDY)さんの工房を訪ね、窯や作業場、展示室の蔵などを拝見し、素材や製作過程にこだわった仕事を見せていただきました。翌日は伊根町の舟屋群を見学。平地の少ない地形や穏やかな湾から生まれた舟屋は、漁業中心の生活と重なりこのような形になったと伺いました。建物は気候風土に無理なく寄り添う事で一体となった風景としても見る事が出来ると感じました。早いもので今年もあと少し。来年はいよいよ木の保育園も完成します。来年も引き続きよろしく願っています。

(山崎健治)



🏠 掛川市『こだまの家』完成見学会を行います。

9月に建前を行った『こだまの家』、自然に囲まれたロケーションの中、ご両親の住まいに寄り添う形で建築されました。広間と読書スペースには、田や山の景色を切り取った木製の窓を設け、暖かい日差しと共に、毎日の暮らしの中へ季節で変化する風景を取り込みました。心地良い暮らしと実用性を兼ねた木の住まいになったと思います。新年明けての見学会、是非ご参加ください。

◆ 日時：2017年1月14・15(土・日) 10:00~17:00

◆ 場所：掛川市

※見学会の詳細情報はコラボホームページ [http://www.kokolab.jp]でお知らせします。

※予約制となっておりますので、当社までご連絡下さい。(ご予約後、案内図を送らせていただきます)

🏠 構造見学会

島田市『Y邸』

◆ 日時：2017年1月下旬(土・日)

10:00~17:00

◆ 場所：島田市

※見学会の詳細情報はコラボホームページ

[http://www.kokolab.jp]でお知らせします。

🏠 木の家相談会

予約制となっておりますので、
当社までご連絡ください。

◆ 日時：1月7・8日(土・日)

2月4・5日(土・日)

10:00~17:00

◆ 場所：『こころぼの家』

『こころぼの家』information

『こころぼの家』では毎月テーマを決め、コラボ通信設置店さんなどに協力をいただきながら暮らしにまつわる展示やイベントを行っています。また四季の暮らし方に合わせた木の家暮らしを体験できるみんなの木の家として、様々な企画をしています。

1月
のイベント

戸練ミナ先生の重ね煮お料理教室

1月27日(金) 10:00~13:30

定員：15名 参加費：6500円

重ね煮とは、野菜のうまみを最大限に引き出す調理法のひとつです。蒸し煮することで野菜の力をグンと引き出します。重ね煮は冷蔵庫で5日ほど保存が出来、様々なお料理にアレンジができるため、一度知っておくと、日々のお食事の支度がとても楽になり、さらにとても美味しい! と、いいことづくしの調理法です。

今回は、ミナ先生による冬のお野菜を使った重ね煮のデモンストレーションをご覧いただき、その後はテクラの器で、美味しいお食事を召し上がっていただきます。年末年始で少し疲れた体を、美味しく整えてみませんか?

当日のメニューはお問い合わせください。



写真はイメージです

＜お教室参加の申込み＞
(有)ころ木造建築研究所
0547-54-4556

2月
のイベント

テクラさんの出張販売

2月4日(土)・5日(日)

テクラは静岡市葵区大岩で器を中心に、木工品や衣類など「手仕事の暮らしの道具」を取り扱うお店です。今回は、日常使いにぴったりの小鹿田焼(おんたやき)や福田のいさんのうつわをはじめ、tamaki niimeさんのショールなど、日々の暮らしが楽しくなるような品々をお持ちいたします。みなさまのご来店をこころよりお待ちしております。



＜お教室参加の申込み＞
(有)ころ木造建築研究所
0547-54-4556

テクラさんの器でいただく madoiさんの発酵ごはんの料理教室

2月5日(日)11:00~13:00くらい

定員：10名 参加費：3800円 持ち物：エプロン

ベジボールが入ったブラウンシチューを皆さんで作り、用意しておいたお惣菜(4品ほど)とデザートをテクラさんの器に盛り付けて、召し上がっていただきます。お肉やお魚を使わず、糀を使った発酵調味料とお野菜だけで作るおかずです。

◆ 場所：『こころぼの家』 島田市東町1370-4

イベントの詳細や今後の展示・イベントなどは、当社Facebookページ(https://www.facebook.com/kokolab.tuushin/)でお知らせしていきます。また、見学や体験などについては随時予約を受け付けていきますので、電話やメール、お問合せフォームなどお気軽にご連絡ください。